

各 位

会 社 名 太平化学製品株式会社

 代表者名 代表取締役社長 門 田 豊  
 (コード番号・4223)

 問合せ先 経営管理部長 坂 田 昌 繁  
 電 話 048 - 222 - 1122

## 業績予想の修正(連結及び個別)及び投資有価証券評価損の戻入れに関するお知らせ

平成 24 年 11 月 1 日付で公表いたしました平成 25 年 3 月期(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)の連結並びに個別の業績予想を、下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

### I. 業績予想の修正について

平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

|                             | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 た り<br>当 期 純 利 益 |
|-----------------------------|-------|---------|---------|-----------|------------------------|
|                             | 百万円   | 百万円     | 百万円     | 百万円       | 円 銭                    |
| 前回発表予想 (A)                  | 5,700 | △100    | △120    | △160      | △13.02                 |
| 今回修正予想 (B)                  | 5,270 | △250    | △250    | △150      | △12.20                 |
| 増 減 額(B)－(A)                | △ 430 | △150    | △130    | 10        |                        |
| 増 減 率 (%)                   | △ 7.5 | —       | —       | —         |                        |
| (ご参考)前期実績<br>(平成 24 年 3 月期) | 6,121 | △136    | △150    | △144      | △11.78                 |

平成 25 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

|                             | 売 上 高 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 た り<br>当 期 純 利 益 |
|-----------------------------|-------|---------|-----------|------------------------|
|                             | 百万円   | 百万円     | 百万円       | 円 銭                    |
| 前回発表予想 (A)                  | 5,680 | △120    | △160      | △13.02                 |
| 今回修正予想 (B)                  | 5,260 | △250    | △150      | △12.20                 |
| 増 減 額(B)－(A)                | △ 420 | △130    | 10        |                        |
| 増 減 率 (%)                   | △ 7.4 | —       | —         |                        |
| (ご参考)前期実績<br>(平成 24 年 3 月期) | 6,112 | △151    | △145      | △11.82                 |

修正の理由

#### 1. 連結業績について

当期業績予想につきましては、前回公表時点では、増販計画の推進に加え、復興需要、海外案件の獲得等による需要回復を織り込んでいました。しかし、当社の主力事業が属する市場の低迷が未だ続いており、一部製品の拡販は達成できたものの、全体では当初計画より遅れ、売上高は大幅に減少しております。

一方、利益につきましては、歩留まりの向上、人件費を中心とした経費の削減を計画通り進めておりますが、それを上回る需要の減退が大きく響き、また、今後見込まれる円安による原料高、電気料金の値上げ等、業況の下振れ要因も多々存することから、前回予想を下回る見込となり業績予想を修正するものです。

なお、第2四半期に特別損失として計上した、投資有価証券評価損は第3四半期末における株価回復に伴い取り崩しております。

## 2. 個別業績について

個別業績の修正理由は、連結業績予想と同様であります。

## II. 投資有価証券評価損の戻し入れについて

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落したものについて、平成25年3月期第2四半期において減損処理による投資有価証券評価損を計上しておりましたが、株式市況の回復により、平成25年3月期第3四半期において、投資有価証券評価損の戻し入れが発生することとなりましたのでお知らせいたします。

|   | 単体                  | 連結                  |
|---|---------------------|---------------------|
| 平成25年3月期第3四半期会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)の投資有価証券評価損の総額(=A-B)   | △122百万円<br>(△:戻し入れ) | △122百万円<br>(△:戻し入れ) |
| (A)平成25年3月期第3四半期累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)の投資有価証券評価損の総額       | 0百万円                | 0百万円                |
| (B)直前四半期(平成25年3月期第2四半期)累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)の投資有価証券評価損の総額 | 122百万円              | 122百万円              |

※ 四半期における投資有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。従って、平成25年3月期通期の投資有価証券評価損の計上額は変動する場合があります。

※ 当社の決算期末は、3月31日です。

以上